

# 就労支援について

厚生委員会資料  
令和6年11月26日  
福祉部障害者支援課

## 1. 区の支援策の方向性について

働く意欲がある障害者が、個性と能力を十分に発揮することができるよう、多様な就労機会の確保や就労支援の充実を図るとともに、就労が継続できるように支援する。

また、福祉的就労の希望者に、就労先確保のために就労継続支援事業所を整備する等、福祉的就労の充実を図る。

【主な内容】就労支援の推進、就労継続の支援、多様な働き方の推進、福祉的就労の充実

## 2. 品川区障害者就労支援センター等の取り組み

(1) 品川区障害者就労支援センター「げんき品川」(区市町村障害者就労支援事業)

一般就労の機会の拡大と就労継続のため、コーディネーターを配置し、就労面と生活面の支援を一体的に提供

【R5年度実績：相談件数(障害者) 1,280件、(企業) 361件、企業就職者 18人】

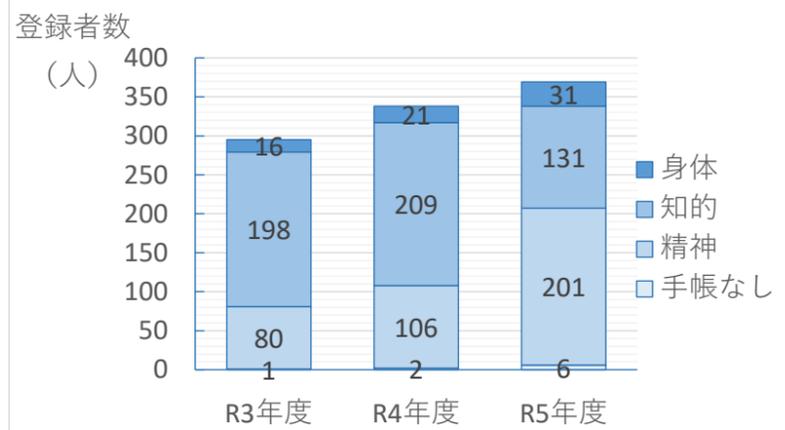
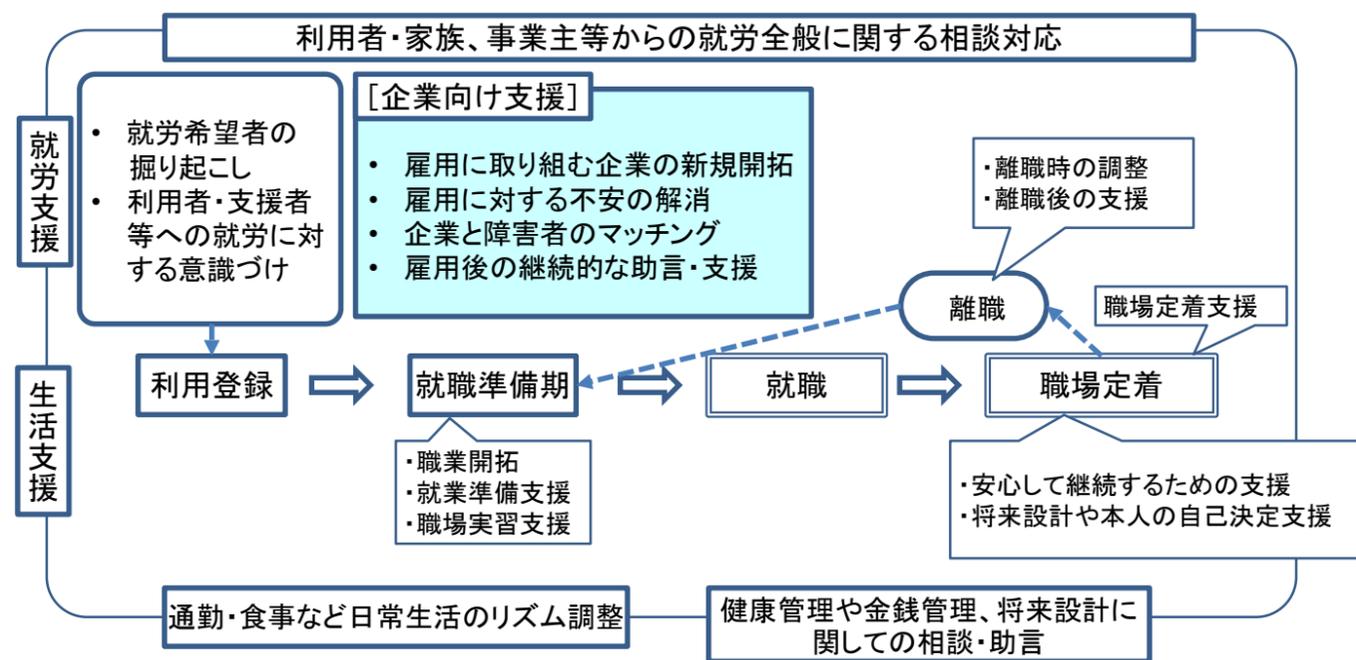


図 登録者数の推移

表1 就職者内訳

|      | R3年度 | R4年度 | R5年度 |
|------|------|------|------|
| 身体   | 2    | 4    | 2    |
| 知的   | 3    | 4    | 7    |
| 精神   | 5    | 10   | 15   |
| 手帳なし | 0    | 0    | 1    |
| 合計   | 10   | 18   | 25   |

※重複あり

表2 障害者総合支援法におけるサービス

| サービス種別    | 支援内容                        | R5年度実績  |      |
|-----------|-----------------------------|---------|------|
|           |                             | 月平均利用者数 | 事業所数 |
| ①就労移行支援   | 企業等への就労希望者に訓練等を提供           | 134人    | 12   |
| ②就労継続支援A型 | 上記雇用が困難な方等に雇用契約に基づく就労の機会を提供 | 62人     | 2    |
| ③就労継続支援B型 | 上記雇用が困難な方等に就労や生産活動等の機会を提供   | 387人    | 14   |
| ④就労定着支援   | ①を経て企業等に就職した方に必要な支援を実施      | 64人     | 7    |

・福祉ショップ「テルペ」イトーヨーカドーの協力により自主製品を販売する福祉ショップを運営委託  
【実績】R5年度  
売上金額 2,652,607円

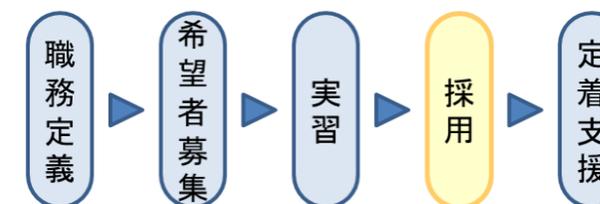
・障害者優先調達法に基づき、区が施設等から物品等を調達  
【実績】R5年度  
物品：123,632,018円  
役務：239,171,168円

## 3. 新たな取り組み

(1) 超短時間雇用促進事業の本格実施

- 長時間の就労が難しい障害者等へ、東京大学先端技術研究センターの超短時間雇用のスキームに基づき、超短時間雇用の機会を提供
- 障害者就労支援センター「超短時間雇用促進窓口みつけ」にコーディネーターを配置
- 事業導入に前向きな企業等を個別訪問、登録を促し、業務について超短時間雇用に適した作業・事務等の切り出しを行い、職務を定義する。
- 就労希望者を募り、働きたい障害者等とのマッチングを行い、採用までの過程やその後のフォローについてコーディネーターが伴走支援する。

【実績】R6年10月末  
登録企業28社  
就労希望者35人  
就職者3人



(2) 自主製品販売促進

- ①品川区地域自立支援協議会就労支援部会による販売イベント「輪の品マルシェ」  
区内障害者就労施設等が連携して出店する販売イベントの愛称を「輪の品マルシェ」と名付け、施設が連携して輪になり地域とつながることを目指し、販売促進に取り組んでいる。  
【実績】R6年6月:JR東日本とコラボ企画でJR目黒駅、7月・11月:大井競馬場にて実施

- ②臨海斎場における組織区5区による販売「りんかい5区ハートプロジェクト」  
品川区、港区、目黒区、大田区、世田谷区5区の障害者福祉施設が意見交換を行い、「りんかい5区ハートプロジェクト」と名付け、販売促進に取り組んでいる。  
【実績】R5年度:参加事業所20、実習6人、就職1人  
ステップアップ2人(就労継続支援A型1人、就労移行支援1人)

(3) 重度障害者等就労支援特別事業

- 重度障害者等に通勤・職場での移動・身体介護等の支援を行い、就労継続・雇用促進を図る。  
【実績】R6年10月末6人(うち同行援護利用者5人、重度訪問介護利用者1人)